

投稿規定・執筆要領

雑誌名	東北大学医学部保健学科紀要
巻	14
号	1
ページ	62-64
発行年	2005-01-31
URL	http://hdl.handle.net/10097/00109020

東北大学医学部保健学科 紀要投稿規定

1. 紀要名称
東北大学医学部保健学科紀要
(英名: Bulletin of School of Health Sciences, Tohoku University)
2. 発行
原則として年2回とする。
3. 投稿論文
 - 1) 東北大学医学部保健学科の専任教員が著者または共著者であること。
 - 2) 紀要編集委員会(以下委員会)で投稿を依頼したものなどとする。
4. 投稿原稿
和文または英文の原著、事例報告、その他評論、解説、翻訳などで未発表のものとする。
総説は依頼原稿を原則とする。
5. 論文の採択
投稿論文の採否は委員会の審査による。
6. 論文提出先
投稿者は委員会の指定する日までに委員会に論文を提出する。
7. 編集
 - 1) 初校・再校は著者校とし、校正での新たな加筆訂正は認めない。
校正の返送期日は厳守すること。
 - 2) その他掲載順序など編集に関することは委員会に一任する。
 - 3) 論文に関して問題が生じた場合は著者と協議の上対応を決定する。
8. 図・表および写真
カラー(写真)を含む掲載を希望する場合は、初校の際に委員会に申し出る。費用は原則として著者負担とする。
9. 別刷
別刷を一定部数以上希望する場合は、初校の際に委員会に申し出る。費用は著者負担とする。
10. 著作権
 - 1) 紀要に掲載された論文等の著作権は東北大学医学部保健学科に帰属する。
 - 2) 著者が、その論文等の一部または全部を他へ転載する場合は、本学科に許諾を得た上、本学紀要より転載の旨を明記または文献欄等に原著として引用すること。

附 平成16年1月26日実施

平成16年12月20日一部改正

執筆要領

1. 原稿の様式

- 1) 和文または英文の原著、事例報告、その他評論、解説、翻訳などで未発表のものとする。総説は依頼原稿を原則とする。
- 2) 原稿の様式は、題名・所属・著者名、英文要旨、索引用語、本文、文献、図表の順に記述する。英文の場合は和文に準ずる。

2. 原稿の書き方

- 1) 原稿は和文の場合、横書き A 4 判 600～800 字詰め範囲にて記述したものとする。同じ字詰めワープロによるものでも差し支えない。英文論文は A 4 判ダブルスペースでタイプする。
- 2) 和文原稿には英文の、英文原稿には和文の表題、著者名、所属を併記する。
- 3) 英文要旨：
要旨は A 4 判ダブルスペース 250 語以内とする。要旨は抽象的記述でなく、目的、方法、成績、結論などの具体的な数字、内容を簡潔にまとめる。
- 4) 索引用語 (Key words) : 5 個以内とする。
- 5) 現代かな遣いに従い、常用漢字を用いる。
- 6) 和文の句読点は、「。」と「,」を用いる。
- 7) 度量衡は原則として SI 単位とする。
- 8) 外国人名、薬品名などの科学用語は原語のまま、またはカタカナとする。原語の場合、固有名詞、ドイツ語名詞の頭文字は大文字とする。
- 9) 論文中でしばしば繰り返される語は略語を用いて差し支えないが、初出のときは完全な用語を用い、以下に略語を使用することを明記する。
- 10) 枚数制限：
 - a. 原著は文献、図、表を含め、和文では 400 字詰め原稿用紙 40 枚相当以内、英文では A 4 判ダブルスペース (24 行) で 20 枚相当以内とする。ただし、図、表は原則合計 10 枚以内とする。
 - b. 事例報告は文献、図、表を含め、和文では 400 字詰め原稿用紙 20 枚相当以内、英文では A 4 判ダブルスペース (24 行) で 10 枚相当以内とする。ただし、図、表は合計 10 枚以内とする。
 - c. 総説その他の原稿は原則として原著に準ずる。
- 11) 図 (写真) および表：
 - a. 図 (写真) および表はそのまま印刷できる明瞭なものとする。
 - b. 大きさを希望する場合は寸法を明記する。
 - c. 図 (写真) および表にはそれぞれ番号を付け、一括して原稿の末尾に添える。原稿中には挿入場所を欄外余白に朱書きする。
 - d. 図 (写真) および表には表題を付け、必要に応じて説明文を付ける。
 - e. 写真は手札 (11×8 cm) 以上の大きさにプリントした鮮明なものに限る。
 - f. 図、表の 1 枚は和文の場合 400 字詰め原稿用紙 1 枚、英文の場合は A 4 判ダブルスペース 1 枚に相当するものとして取り扱う。

- g. 原則として、表(図、写真)を2つ以上組合せにして表1(図1)とはしないこと。
組み合わせた場合はその総枚数によって本文の枚数を勘案すること。
- h. 論文の最初の頁は右頁(奇数頁)から開始し、白紙の頁を作らないため表または図(写真)は編集上その大きさを調整することがある。

12) 文献:

- a. 文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。
- b. 著者名はすべての者を明記する。
- c. 誌名略記は Index Medicus または慣用略称を用いる。
- d. 文献の記載方法
 - i. 雑誌

著者名: 表題, 雑誌名, 巻, 頁(開始頁-最終頁), 発行年(西暦)

(例) 佐藤喜根子, 佐藤祥子, 堀川悦夫, 高林俊文: マタニティドライビングが母親とその胎児に及ぼす影響 第1報 -実態調査-, 東北大医短部紀要, **9**, 181-186, 2000

(例) Niwa, T., Shindoh, C.: An exercise material for electrocardiogram analysis on the Web, Bull. Coll. Med. Sci. Tohoku Univ., **11**, 172-182, 2002

(例) Berrington de Gonzalez, A., Darby, S.: Risk of cancer from diagnostic X-rays: estimates for the UK and 14 other countries, Lancet, **363**, 345-351, 2004

(例) Krivov, S.V., Karplus, M.: Hidden complexity of free energy surfaces for peptide (protein) folding, Proc. Natl. Acad. Sci., **101**, 14766-14770, 2004
 - ii. 単行本

著者名: 表題, 編集者名, 書名, 版数, 発行所名, 発行地, 発行年(西暦), 引用頁(開始頁-最終頁)

(例) 日本放射線機器工業会: 医用画像放射線機器ハンドブック, 電子計測出版社, 東京, 1989, p 166-168, 304

(例) 稲葉彰: 急速に進行する手足の脱力を訴え受診した26歳男性, 櫻林郁之介, 水口國雄編, 臨床検査の診かた・読みかた・考えかた, 医歯薬出版, 東京, 2001, p 287-292

(例) Grety, R.J.: Newly licensed Hepatitis B Vaccine, Viral Hepatitis B, 2nd ed., Plenum Press, New York, 1990, p 189-194
 - iii. 訳書(原則的には原著を引用すること)

(例) Freeman, K., Heinrich, H.K.: Community Health Nursing practice, Saunders, Philadelphia, 1981: 橋本正巳監訳, 地域保健と看護活動-倫理と実践-, 医学書院サウンダース, 東京, 1985, p 192-199

3. その他

- 1) 投稿に際しては「投稿届」と論文原稿のプリント2部を提出する。投稿届(用紙)は委員長から受け取り本文, 文献, 図(写真), 表などの枚数を付記して提出すること。
- 2) 略題(ランニングタイトル)は, 和文の場合20字程度, 英文の場合は5語程度として投稿届に付記すること。
- 3) 査読完了後の論文は原則として, テキストファイル化した本文を記録したフロッピーディスクと論文原稿のプリント1部を提出すること。